

保護者の方へ

（「パス（pass）」説明用） 様式3

あなたのお子様は、 年 月 日に実施した新生児聴覚スクリーニング検査は「パス（pass）」の結果でした。

これから成長するにつれて実際の音への反応もわかりやすくなってきますので、別紙の「家庭でできる耳のきこえとことばの発達のチェックリスト」を参考にして、お子様のきこえや言葉の発達に関心をもってみていきましょう。

また、今後の成長の過程で、中耳炎やおたふくかぜといった、生まれた後にかかる感染症による難聴や、先天性の原因でもあとから難聴がでてくる場合があります。今回の検査ではそういったものを発見することはできませんので、今後、お子様のきこえや発達のことで心配な点がありましたら、かかりつけの小児科、耳鼻咽喉科の医師、または市町村保健センター等での健診で相談してください。

保護者の方へ

（「要再検（refer）」説明用） 様式4

あなたのお子様は、 年 月 日に実施した新生児聴覚スクリーニング検査で「要再検（refer）」（右・左・両耳）の結果でした。

このことは直ちに聴覚に問題があることを意味するものではありません。今回の検査では、はっきりした反応をとらえることができませんでしたので、再度検査が必要となります。

（時期） _____ に、（場所） _____ で再検査を受けてください。

更に詳しい説明が必要であったり、ご心配の相談がある場合には、下記へご連絡ください。

医療機関名 _____ 担当科 _____ Tel _____

保護者の方へ

（要精密検査者用） 様式5

あなたのお子様は、 年 月 日に実施した新生児聴覚スクリーニング検査で「要精密検査」（右・左・両耳）の結果でした。

このことは直ちに聴覚に問題があることを意味するものではありません。今回の検査では、はっきりした反応をとらえることができませんでしたので、もう少し、詳しい検査が必要です。

下記医療機関をご紹介しますので、耳鼻咽喉科での診察と精密検査を受けてください。

更に詳しい説明が必要であったり、ご心配の相談がある場合には、下記へご連絡ください。

医療機関名 _____ 担当科 _____ Tel _____